



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

子どもまんなか社会

Q 来年度4月から子ども家庭庁が設置されるが、本市としては既にことん子育てにやさしい島原市として子育て政策を展開してきた。さらに、子供たちや保護者のニーズに沿った政策立案のためにも、市長、副市長、教育長をはじめとする行政が子育てや教育といったテーマで教育懇談会、教育懇談会を開催すべきではないか。

A 子供施策の内容・目的に応じて子供や保護者の意見を表明する場は必要であると思う。教育現場、保育の現場の声を聞きたい。子供が一人のしつかりとした人格を持った大人として育っていくために、保護者、現場、行政それぞれが何を頑張らなければいけないのかを議論することは非常に有意義であると思う。

島原鉄道の可能性

Q 島鉄北目線についての在り方検討会が、長崎県を中心につくられて

いる。長崎自動車グループを親会社として再建のときだったと思うが、このコロナでの影響はどうなのか。

A 鉄道乗客数が平成28年度142万5000人だったのが、令和3年度103万1000人と激減している。鉄道部分の赤字を補っていた観光分野も落ち込んでおり、全事業での赤字額も拡大している状況。平成20年に南目線が廃線となった状況よりも厳しさを感じている。

Q 市民の足、そして観光分野でのアクセスと大三東駅といった観光拠点という面で考えて、本市まちづくりにおいて欠かすことのできない交通手段であることは揺るがない。今こそ、市民総出で乗って応援することが必要ではないか。4万人の足キャンペーンは再開するべきではないか。

A ぜひとも市民の方々に乗っていただきたい。こういった支援がさらに行けるためにも国の政策がないものか調べてみたい。また、通勤や出張などの利用促進のためにも職員をはじめ、議会や市民の方々にもぜひ推進していただきたい。

【その他の質問項目】

- ◇雲仙断層群地震発生確率増
- ◇コンパクトシティ



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

持続可能なまちづくり

Q 地域コミュニティの現状と可能性について。持続可能な運営のためには、活動経費の確保、権限移譲が必要だと考えますが？

A 地域の将来を見据え、顔の見える関係づくりに取り組まれ、安中まちづくり協議会を設立。今後は、検証しながら市内へ広げていきたい。職員の減少が見込まれる中、地域でできる部分を取組んでもらい、国の集落支援員制度の活用など、人的・経済支援も検討する。

Q 地域デジタル通貨は、導入コストも安価になり費用対効果、地域コミュニティの観点からも有効だと考えますが？

A 導入について、複数市で連携した広域的な取組が必要なので、他の事例を参考に検討する必要がある。

社会教育施設及び学校教育施設の総合管理計画

Q 人口減少に伴い、学校規模の適正化が検討されていますが、進捗についてお尋ねします。

A 新しい学校の在り方を基にした小・中学校再編基本計画の素案を作成中。今後は、意見を聴取しながら児童・生徒の教育効果を最優先とし、大きな視野で適正配置に努めていきたい。公民館については地域コミュニティの活動拠点であり、配置については、学校施設の議論を踏まえ検討したい。

Q 施設ごとではなく機能別の集約で経費の削減、世代交流が期待できると考えますが？

A 四小と杉谷公民館の併設型の優良事例があり、いろんな視点を含め研究を進めていきたい。

【その他の質問項目】

- ◇GIGAスクール利用状況
- ◇コロナ禍での学校給食
- ◇広馬場下埋立地の利用計画
- ◇霊丘グラウンドの代替地
- ◇広馬場交差点
- ◇島原城築城400周年